

県央地域における課題と方向性等に係る協議事項

1 データからみた「県央の地域特性」は実情を反映しているか。

2 2025 年に向けて取り組むべき施策・課題の方向性。

2025 年には一般病床、療養病床いずれも不足するが、それへの対応はどうか。

- ・ 不足を補う場合、どのような疾患を充実することにより補うか、提供体制を充実することにより補うか、他の圏域との連携を促進することにより補うか、さらには、どのような手法があるか。

がん、急性心筋梗塞、脳卒中に着目した場合、2025 年に向けて取り組むべきことは何か。他に着目すべき疾患はあるか。

在宅医療等で算定された患者数にはどのように対応するか。

- ・ 在宅療養支援診療所等の増加によるか、システムの構築によるか。

救急医療では、他の圏域の大学病院等を含めた対応を今後も続けるか。

- ・ 続けるとしても、増加傾向にある救急患者の受け入れ体制はこのままでよいか（県央を 4 地区に分けて救急医療体制を構築しているが、今後もこれを継続するか）。

2025 年に向けて必要な人材は何か。また、どのように育成するか。

その他、重点的に取り組む課題は何か。